

中国の思想



孔子

☆**儒学**：魯の孔子が唱え、孟子・荀子が体系化。
周の礼(社会秩序)、仁(家族愛)、徳治主義。

秦¹ _____ : 始皇帝が儒家を弾圧。法家の李斯が建議。

⇒ 儒学の経典は暗唱され、漢代に再び文字(隸書)で書かれる。

前漢² _____ : 武帝に建議、³ _____ 設置。儒学の官学化。

(五経=⁴ _____ . _____ . _____ . _____)

⁵ _____ 学：古代の文字で書かれた経典の字句を解釈。

新劉歆⁶ : 王莽に仕え、焚書坑儒以前に書かれた経典を発見(?)

後漢⁶ _____ : 馬融に学び、訓詁学を完成。党錮の禁で逮捕。

後漢許慎⁷ : 『説文解字』は、最古の漢字辞書。



魏晉漢の滅亡により、官学としての儒学は衰退。仏教・道教が流行。

1 焚書・坑儒

2 董仲舒

3 五経博士

4 詩経・書経・

易経・春秋・礼記

5 訓詁

6 鄭玄

7 張角

8 張陵

9 阮籍

10 寇謙之

11 王重陽

12 仏図澄

13 亀茲

14 鳩摩羅什

15 法顕

16 仏国記

17 玄奘

18 大唐西域記

19 義浄

20 南海寄帰内法伝



解説動画
中国仏教
と道教

☆**道教**：中国の民間信仰。神仙思想(山岳に住む仙人への信仰)

老荘思想(老子・荘子の教え)、易などが融合したもの。

治病・不老不死など現世利益。僧侶を道士、寺院を道観、

秦徐福⁸ : 始皇帝の命により、仙薬を求め東方の蓬萊島へ至る。

後漢⁷ _____ : 太平道の祖。河北に教団。黄巾の乱を起こす。

後漢⁸ _____ : 五斗米道(天師道)の祖。四川(蜀)に教団。

⇒ その子孫は代々“天師”と称し、江南で布教(⇒ 正一教)

魏晉老荘思想の論議(清談)。⁹ _____ ・稽康など竹林の七賢。

北魏¹⁰ _____ : 新天師道の祖。北魏・太武帝に廃仏を建議。

※三武一宗の法難：皇帝が道教教団と結び、仏教を弾圧した事件。

北魏太武帝、北周武帝、唐武宗、後周世宗。

唐老子(李耳)と同姓なので、唐王朝の祖として道教を保護。

金¹¹ _____ : 全真教の祖。道・儒・仏(禅宗)を融合。

⇒ 弟子の長春真人は、西征中のチンギス=ハンに招かれる。

☆**仏教**：前漢末に西域から伝来。五胡十六国時代に本格的布教。

五胡¹² _____ : 西域・¹³ _____ の出身。洛陽で布教。

⇒ 弟子の道安が各地を遍歴布教⇒ 慧遠の白蓮社は浄土宗の源流。

五胡¹⁴ _____ : 亀茲の僧。前秦の苻堅に招かれ、仏典漢訳。

北魏 達磨¹⁵ : 禅宗の伝説的開祖。インド人。洛陽で布教?

東晉¹⁵ _____ : グプタ朝インドに留学。旅行記『¹⁶ _____』

★中国美術：敦煌の莫高窟、平城の雲崗石窟、洛陽の竜門石窟。

唐¹⁷ _____ : ヴァルダナ朝に留学。『¹⁸ _____』

唐¹⁹ _____ : シュリーヴァイヤ王国で『²⁰ _____』

★中国仏教：天台宗、真言宗、禅宗、浄土宗は中国で成立。

隋文帝(楊堅)が、科擧の科目として儒学(訓詁学)を復興。
唐²¹ _____ : 太宗に仕え『²² _____』を著し、
五経の解釈を統一。(⇨解釈の固定、科擧のための儒学)

²³ _____ 学 : 儒学に仏・道・易の宇宙哲学を導入。
理気二元論。朱子学、性理学ともいう。

北宋²⁴ _____ : 『太極図説』は宇宙の起源論⇨程顥と程頤。

南宋²⁵ _____ : 二元論的人間観(性即理)と道德論(道学)。
⇨自然の理は人の性と通ず。理を究めて知性を磨く(格物致知)
君臣関係を正す大義名分論。『四書集注』『資治通鑑項目』



朱熹

(四書=²⁶ _____ . _____ . _____)

⇨ 異民族を蔑視する中華思想(華夷の別)を正当化。

⇨ 元科擧の中止で儒学は衰退。

⇨ (⇨元末、仁宗が復活。南人に不利)

明洪武帝が朱子学を科擧の科目に。『六論』を制定、民衆教化。

明永楽帝の編纂事業 : 『四書大全』『五経大全』『性理大全』



³¹ _____ 学 : 朱子学の空理空論を批判、実証研究を重視。

明清³² _____ : 東林派に属し、明の政治を批判。清にも仕えず。

⇨ 『明夷待訪録』で専制を批判。『宋元学案』は中国思想史。

明清³³ _____ : 反清復明。諸国を放浪、³⁴ _____ を著す。

清乾隆帝 : 『四庫全書』編纂。思想統制の強化(文字の獄)。

⇨ 考証学者は弾圧を恐れ、政治批判を避けて古典研究に没頭。

21 孔穎達 くようだつ

22 五経正義

23 宋

24 周敦頤 しゅうとん い

25 朱熹 しゆ き

26 論語・孟子
・大学・中庸 ちゅうよう

27 陽明学

28 陸九淵 りくきゅう えん

29 王守仁(王陽明)

30 李贄(李卓吾) り し

31 考証

32 黄宗羲 こうそう ぎ

33 顧炎武 こ えん ぶ

34 日知録 にっ ち ろく

35 公羊 く よう

36 海国図志 こう ぐう じ

37 康有為

²⁷ _____ 学 : 朱子学の理知主義を批判。実践を重視。

南宋²⁸ _____ : 唯心論。心一元論(心即理)。古典を軽視。

★ 明²⁹ _____ : 明の官僚。宦官と対立、貴州の山中に左遷。
心即理、知行合一、致良知(正しい心に至る)

明³⁰ _____ : 陽明学左派。營利を認め、男女の同権を説き、
獄中で自殺。『焚書』『蔵書』

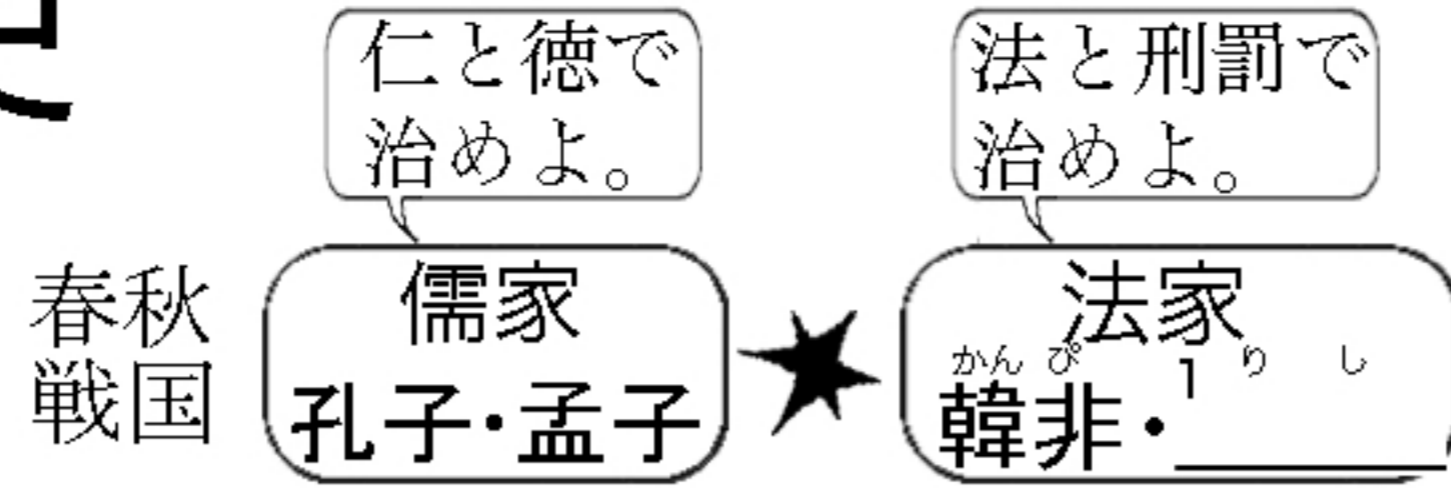
³⁵ _____ 学 : 『春秋公羊伝』と欧米思想に学び政治改革。

清魏 源 : アヘン戦争に従軍、『³⁶ _____』で西洋を紹介。

清³⁷ _____ : 日清戦争後、光緒帝に採用され変法運動を推進。

- 『大同書』 : 無差別平等の理想社会を論ず。(⇨孫文の民生)
- 『孔子改制考』 : 五経とは、孔子の政治理念を示す創作である。

儒学思想史



▲ 焚書・坑儒

秦 始皇帝の丞相・¹ 李斯 が焚書・坑儒。

前漢 ² 董仲舒 の建議で武帝が官学に。

五経 (詩経・書経・³ 春秋・⁴ 礼記・易経)

最古の詩集 周の年代記 占い 魯の年代記 周の制度

後漢 ⁵ 馬融 学

魏晋 (儒学衰退。仏教・道教が流行)

隋唐 訓詁学 を科挙の科目に。

⁷ 五経正義

…五経の解釈の基準

宋 朱子学(宋学) ⁸ 朱熹 ⁹ 陸九淵

性即理 四書 (論語・孟子・大学・中庸)

『礼記』の一部

朱子学批判 ①

陸九淵 心即理

元 (色目人を重用、科挙中止、儒学衰退)

明 朱子学 を科挙の科目に

陽明学

永楽帝の大編纂事業・検閲

『四書大全』『五経大全』

『永楽大典』

¹¹ 王守仁 (陽明)

…心即理、知行合一

¹² 卓吾 (卓吾)

…『焚書』『蔵書』

男女同権と商業の重視

陽明学の思想

(宇宙) (人間)

理 = 性

⇕

心 = 氣

聖人 君子…士大夫 小人…農工商 } 中華

夷狄…異民族 禽獸…動物 木石…無生物

朱子学批判 ②

考証学 古典の実証的研究

¹³ 東林派 ¹⁴ 反清復明運動

『明夷待訪録』 『日知録』

錢大昕

…実証史学。

『二十二史考異』

清 満漢併用制、科挙も実施。

康熙帝 『康熙字典』 『古今圖書集成』

…漢字辞書 …類書 (百科事典)

乾隆帝 『四庫全書』 …経・子・史・集の全書

…大編纂事業にともなう検閲。

⇒学者は弾圧を恐れ、政治批判を避ける。

¹⁹ 魏源 …アヘン戦争後に『海国図志』

²⁰ 康有为 …日清戦争後、変法運動

文字の獄の例

韃虜 ↓ 満州 維 → 雍 民 所 止 → 正

孔子編『春秋』

魯の年代記。

『春秋左氏伝』 年代記として読む。

『春秋公羊伝』 孔子の政治批判を読み取る。

公羊学派

(漢) 董仲舒

(清) 康有为

- 1 李斯
- 2 董仲舒
- 3 易経
- 4 礼記
- 5 訓詁
- 6 鄭玄
- 7 孔穎達
- 8 周敦頤
- 9 朱熹
- 10 中庸
- 11 王守仁
- 12 李贄
- 13 黄宗羲
- 14 顧炎武
- 15 康熙字典
- 16 古今圖書集成
- 17 四庫全書
- 18 文字の獄
- 19 公羊
- 20 康有为

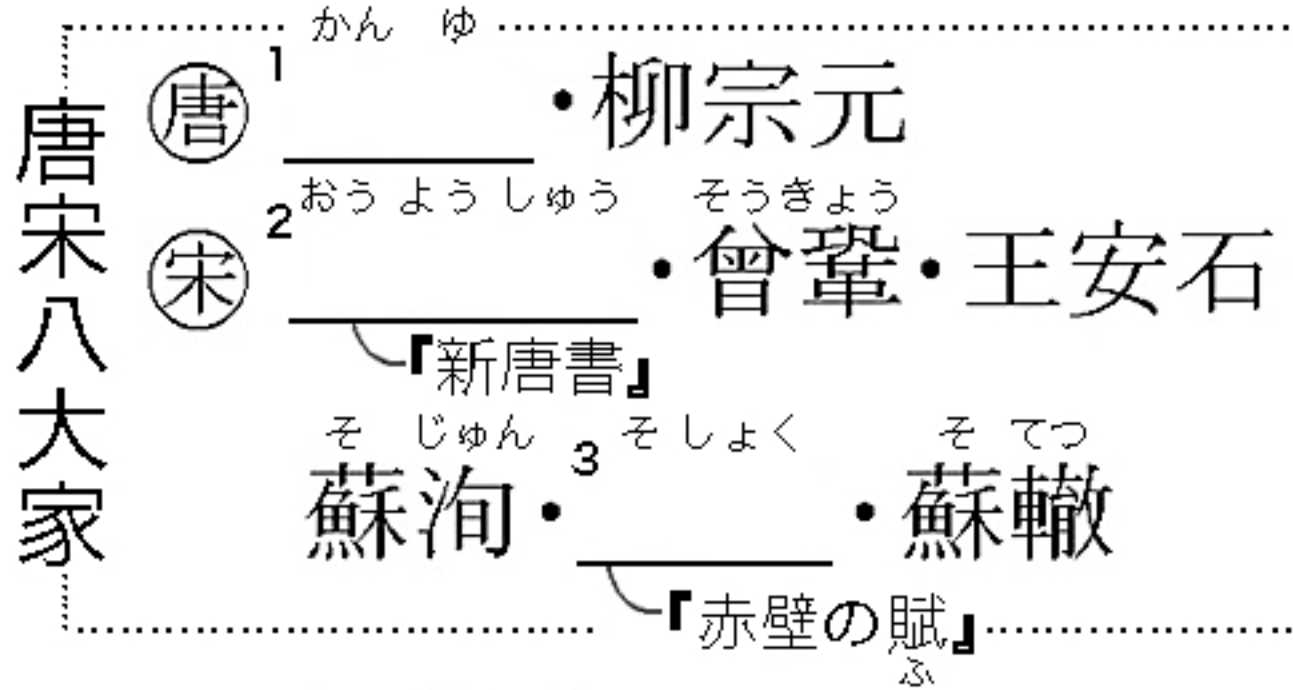
中国語の文体

(漢代まで)

古文

(唐宋)

古文の復興



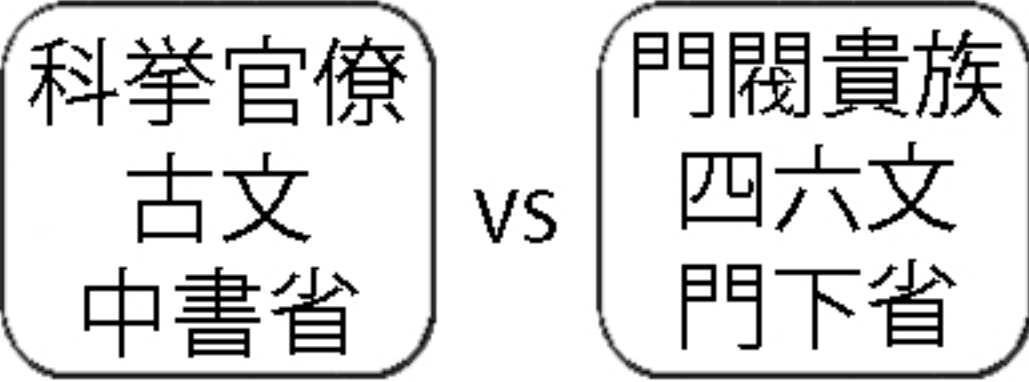
(魏晉南北朝)

べん れい

四六駢儷体…美しく飾った対句。

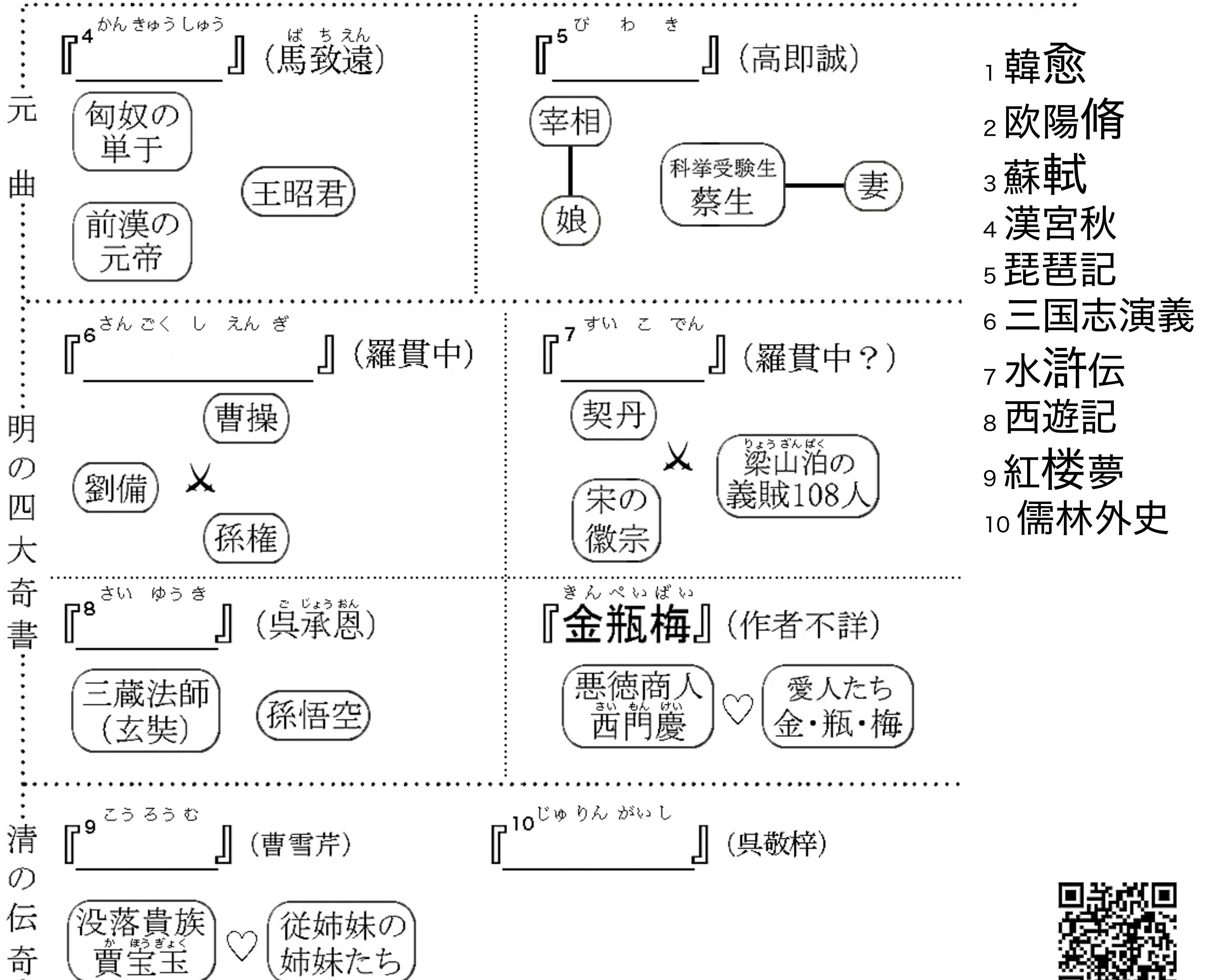
会桃李之芳園，序天倫之樂時。○○○○○○，○○○○○○
 群季俊雄，皆為惠連。○○○○，○○○○
 吾人詠歌，獨慚康樂。○○○○，○○○○
 (李白『春夜桃李園に宴する序』)

唐代における対立関係



庶民文学

…宋代の雜劇に始まり、白話(話し言葉)による大衆文化が生まれる。



解説動画

中国の文学

☆詩

戦国中原の『詩経』、楚の『楚辞』：王族²³の詩を含む。

東晋自然詩人²⁴『帰去来辞』 謝靈運『山居賦』

唐自然詩人²⁵、詩仙²⁶は唐詩の最高峰。

詩聖²⁷『兵車行』の政治批判、『春望』で安史の乱。

²⁸『長恨歌』：玄宗と楊貴妃の悲恋。

北宋²⁹は『赤壁の賦』。父・蘇洵、弟・蘇轍も唐宋八大家。

☆戯曲：宋代の雑劇が元代に元曲として完成。4幕物の歌劇。

元 王実甫『西廂記』は科挙受験生の恋愛物語。

元 馬致遠『³²』は匈奴に嫁いだ王昭君の悲劇。

元 高則誠『³³』は、出世主義の冷酷な夫を支える妻。

明 湯顯祖『牡丹亭還魂記』は、死んだ娘と結ばれる伝奇恋愛物。

清 洪昇『長生殿伝奇』は、唐の玄宗と楊貴妃の悲恋。

清 孔尚任『桃花扇伝奇』は、明末の動乱を舞台に悲恋を描く。

☆小説：宋代の語り物が元・明代にまとめられる。

明 羅貫中『³⁴』：山東省梁山泊に集まる義賊の活躍。

『³⁵』：劉備・諸葛亮の活躍を描く。

明 吳承恩『³⁶』：玄奘の西域旅行と孫悟空の活躍。

明 作者不詳『³⁷』：悪徳商人西門慶の放蕩と没落。

清 曹雪芹『³⁸』：清朝貴族の没落を描く自伝的長編。

清 吳敬梓『³⁹』：科挙の不正、腐敗官僚を暴露。

清 蒲松齡『聊齋志異』：人情あふれる怪奇物の短編集。

☆散文

漢簡潔で力強い古文⇨六朝裝飾華美な四六駢儷体。

南北朝³⁰『文選』：周～六朝の名文集。

唐³¹・柳宗元：漢代古文と儒学を復興。

★唐宋八大家：唐の³¹・柳宗元、北宋の⁴、蘇洵・²⁹・蘇轍・曾鞏・王安石。

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 23 屈原 | 29 蘇軾 | 35 三国志演義 |
| 24 陶淵明 | 30 昭明太子 | 36 西遊記 |
| 25 王維 | 31 韓愈 | 37 金瓶梅 |
| 26 李白 | 32 漢宮秋 | 38 紅樓夢 |
| 27 杜甫 | 33 琵琶記 | 39 儒林外史 |
| 28 白居易 | 34 水滸伝 | |



中国の地理歴史・科学技術

☆歴史・地理

前漢¹ _____ 『史記』：黄帝～漢の武帝。紀伝体(本紀・列伝)。

後漢² _____ 『漢書』：前漢一代。編者は西域都護班超の兄。

⇨ 南北朝『後漢書』、晋『三国志』…明『明史』まで24種の正史。

北魏酈道元³ 『水經注』：最古の地理書。河川流域別に調査。

北宋 _____ 『新唐書』『新五代史』：紀伝体。唐宋八大家。

北宋司馬光⁴ 『資治通鑑』：編年体の通史(戦国～五代)。

明 マテオ=リッチ⁵ 『坤輿万国全図』：中国最初の世界全図。

清 ブーヴェ⁶ 『坤輿万国全図』：中国全土の実測地図。

清⁷ _____ 『大清一統志』：地理研究に考証学を導入。

☆大編纂事業。

明永楽帝の『永楽大典』：類書(百科全書)。

科挙のテキスト『四書大全』『五經大全』『性理大全』

清康熙帝の『康熙字典』：漢字字書。4万2000字。

『四庫全書』：中国最大の類書(百科全書)。

乾隆帝の『五体清文鑑』：満・漢・蒙・蔵・土の五か国語辞書。

『古今圖書集成』：最大の叢書。経・子・史・集。

☆天文学・数学

元¹³ _____ 『授時暦』：¹⁴ _____ がイスラム天文学を基に作成。

⇨ 明大統暦と改称。明末まで360年間使用。(⇨ 日本貞享暦)

明¹⁵ _____ 『崇禎暦書』：西洋暦書。徐光啓がアダム=シャルと共著。

⇨ 明の滅亡で実施できず⇨ 清時憲暦と改称、実施。

明¹⁶ _____ 『幾何原本』：エウクレイデス幾何学をマテオ=リッチが口述。

☆農業

北魏賈思勰¹⁷ 『齊民要術』：古代の農書。乾地農法を記述。

明徐光啓¹⁸ 『農政全書』：農書の集大成。西洋水利も紹介。

☆医学

前漢¹⁹ _____ 『黄帝内経』：最古の医書。鍼灸治療、気功法を記述。

後漢張仲景²⁰ 『傷寒論』：古代の医書。急性発熱の治療法。

明李時珍²¹ 『本草綱目』：薬学書。漢方薬の集大成。

☆科学技術

後漢宦官²² _____ が製紙法を完成(⇨紙は前漢から使用)

北宋畢昇：膠泥活字で活版印刷(普及せず。木版印刷が主流)

明宋応星²³ 『天工開物』：挿絵入り産業技術書。

1 司馬遷

2 班固

3 水經注

4 欧陽脩

5 資治通鑑

6 坤輿万国全図

7 皇輿全覧図

8 銭大昕

9 永楽大典

10 康熙字典

11 古今圖書集成

12 四庫全書

13 授時暦

14 郭守敬

15 崇禎暦書

16 幾何原本

17 齊民要術

18 農政全書

19 傷寒論

20 本草綱目

21 蔡倫

22 天工開物

中国の美術



☆書
 東晋書聖¹ らんていじよ 『蘭亭序』A
おうようじゆん く せいなん ちよすいりよう
 唐初唐の三大書家欧陽詢・虞世南・猪遂良。
 唐² 『顔氏家廟碑』B
 :力強い書体。安史の乱鎮圧でも活躍。

☆絵画

東晋画聖³ じよししんず 「女史箴図」C

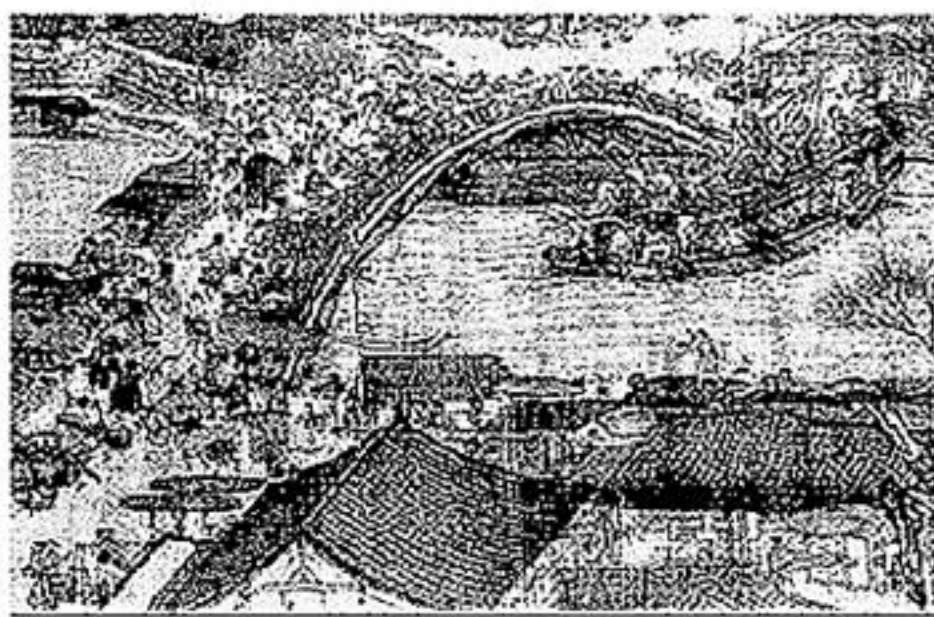
唐 閻立本「歴代帝王図巻」D、呉道玄の仏画。



◎⁴ とが いん 画：宮廷の図画院で描く写実的な絵。
 唐 李思訓^{りしくん}：風景画に優れる。唐の皇族。“北宗画の祖”
ほくしゅうが

北宋 張拙端^{ちようたくたん}⁵：都・開封の繁栄。

北宋⁶ 皇帝「桃鳩図」E (⇨靖康の変)



◎⁷ 画：士大夫が水墨で描く。

唐⁸ なんしゅうが：自然詩人。「雪溪図」G “南宗画の祖”。

北宋 李公麟^{こうりん}「五馬図」、梁楷^{りょうかい}「李白吟行図」H
ぎんこう

形式より精神性を重視。禅宗の影響。

元 黄公望^{こうこうぼう}・呉鎮^{ごちん}・倪瓚^{げいざん}・王蒙： “元末四大家”

明 董其昌^{とうきしょう}：画論『画禅室随筆』で南宗画の優越を説く。



解説動画

☆陶磁器
 唐三彩



宋代の青磁



元代の青花 (染付)



コバルト



明代の五彩



1 おうぎし 王羲之

2 がんしんけい 顔真卿

3 こがいし 顧愷之

4 院体

5 せいめいじょうがず 清明上河図

6 きそう 徽宗

7 文人

8 おうい 王維



G



H